

令和6年度 七ヶ宿町社会教育(公民館)事業

2-1 家庭教育事業

2-1-1 子育て支援講座

- ①目的：子供の発達段階に応じた関わり方や、個別性にも配慮した成長や発達について学ぶことで、子どもと保護者双方の情緒の安定や、人格形成に寄与することを目的とする。
- ②対象：未就学児から中学生の子ども及びその保護者、地域住民
- ③内容：保護者向けの講座、体験活動、人形劇等の観劇など
- ④場所：関保育所、各学校、社会教育施設など

期 日	事業名	場 所	目的・内容等	参加数
5月10日 (金)	子育て支援講座① 「親子で運動あそび」 保育所共催	活性化センター	実技：発達に応じた運動 講師：寿なとり学園 副園長(町外) 対象：幼児と保護者	36名
8月3日 (土)	子育て支援・子ども読書 活動支援事業「親子絵本 づくりワークショップ」	こ・らっ しえ	読み聞かせ、木版画絵本づくり 講師：彦坂木版工房(町外) 対象：3歳児以上、保護者	51名 ボランティア11名
11月2日 (土)	人形劇とおもちゃのじかん	活性化センター	人形劇とおもちゃで遊ぶ 講師：劇団てんたん人形劇場(町外) 対象：幼児～小学校低学年と保護者	13名 (JL4名)
11月23日 (土)	家庭教育支援講座 「みんなが楽しく生きる ために①」 七教進共催	活性化センター	講演会、座談会 講師：フリースクール認定 NPO 法人 PASS ON 副代表・代表理事(町外) 対象：保護者、地域住民	15名
1月26日 (日)	家庭教育支援講座 「みんなが楽しく生きる ために②」 七教進共催	活性化センター	講師：フリースクール認定 NPO 法人 PASS ON 理事(町外) 対象：保護者、地域住民 講演会、座談会	12名

2-1-2 保護者交流支援事業(健康福祉課共催)

- ① 目的：子供の成長や親同士の悩み相談など、育児に関する情報交換の場として設定する。
- ②対象：小学校就学前の乳幼児とその保護者
- ③内容：交流の場の設定、必要に応じて講師や相談員の配置
- ④場所：高齢者センター、活性化センター など



期 日	事業名	場 所	目的・内容等	参加数
5月11日 (土)	おやこ料理教室①	保健センター	講師：町栄養士 「夜ご飯を作って食べよう」	7名
6月23日 (土)	おやこ工作教室①	活性化センター	講師：安藤瑞希氏 「季節の飾りとキーホルダー」	16名
7月21日 (日)	おやこ料理教室②	高齢者センター	講師：町栄養士 「夏野菜でピザづくり」	23名

8月18日 (日)	おやこ料理教室③	高齢者センター	講師：町栄養士 「大きなお口であーん！ライスバーガーづくり」	15名
9月8日 (日)	おやこ工作教室②	活性化センター	講師：高野恵氏（町外） 「世界でたったひとつのアルバムづくり」	10名
10月6日 (日)	おやこ工作教室③	活性化センター	講師：手形足形アートにじのわ 松田絵里氏（町外） 「手形足形で作るオリジナルキーホルダー」	13名
11月17日 (日)	おやこ料理教室④	高齢者センター	講師：町栄養士 「クリスマスを先取り！見た目も楽しいプレートごはんづくり」	19名
12月15日 (日)	おやこ工作教室④	活性化センター	講師：公民館 佐藤 「サンタさんのスノードーム」	12名
1月19日 (日)	おやこ料理教室⑤	高齢者センター	講師：町栄養士 「鬼は～そとふくは～うち おにを食べて鬼退治！」	19名
2月11日 (火・祝)	おやこ料理教室⑥	高齢者センター	講師：町栄養士 「愛情たっぷりバレンタインメニューに挑戦」	25名
3月16日 (日)	おやこ工作教室⑤	活性化センター	講師：公民館 佐藤 「重曹アート」	9名

2-1-3 子育てサークルとの連携

①目的：子を持つ保護者が自主的に集まり、育児に関する情報交換や、これから親となる保護者への応援活動などを行うサークルと連携することにより、家庭教育事業の周知を行い、将来の子育てサポーターとしてのつながりを構築することを目的とする。

②対象：すくすく見守り隊

③内容：子育て支援講座の周知・ファーストブックプレゼントなど

対応等

子育て支援講座は、保育所と連携して保育参観として実施しているが、保護者から保育参観では普段の保育の様子を参観したいという要望があり、次年度以降の共催は難しい見込み。周知や声かけで協力をもらうこととする。また、本年度からスタートした保護者交流支援事業は健康福祉課と連携し月1回のペースで実施することができた。保護者間の交流を図るため、引き続き実施していきたい。また、不登校についての家庭教育支援講座では、ケアハウスが中心となり実施することができた。



2-2 青少年教育事業の推進

2-2-1 親子ふれあい教室

①目的：子供の成長は、小学校頃までが発育・発達の重要な時期であり、その時期に食育や物作りを親子で体験することにより、食事と健康の大切さを学び、親子の触れ合いの場を設けることで愛着醸成を図る。

②対象：小学生と保護者

期 日	事業名	場 所	講師・内容等	参加数
6月9日 (日)	親子陶芸教室	無限陶房	実技：七ヶ宿焼体験 講師：無限陶房（町内）	17名
3月9日 (日)	親子料理教室	保健センター	講師：食生活改善推進員	中止



2-2-2 クリスマス会（子ども会育成会共催事業）

①目的：年齢の違う子どもたちが、季節の行事を楽しみながら創作活動やジュニア・リーダーとの交流をとおして、協調性や自主性を養う。

②対象：小学生

期 日	事業名	場 所	講師・内容等	参加数
12月8日 (日)	クリスマス会	活性化センター	工作、おやつづくり、ジュニア・リーダーとのレク	40名

2-2-3 青少年指導者研修会（ジュニア・リーダー初級研修会）（子ども会育成会共催事業）

①目的：心身共に健やかな生徒の育成をねらいとし、七ヶ宿町青少年の直接的な指導者を養成するとともに、地域ボランティアとしての資質の向上を図る。

②対象：中学1年生（2、3年生でも終了していない者は対象とする）

③期日：【理論研修】6月30日（日）、【実技研修】7月30日（火）～31日（水）

④人数：1年生 6名、2年生 3名

2-2-4-1 ジュニア・リーダーズサークル「ぽっぽ組」への支援

①目的：教育委員会と子ども会育成会で開催する、青少年指導者研修会（ジュニア・リーダー初級研修会）を修了した中学生・高校生を対象に組織するジュニア・リーダーズサークル「ぽっぽ組」を支援し、青少年教育事業に参画してもらうことで郷土愛や広い視野を育み、地域の担い手としての活躍を期待する。

②名称：SJLC「ぽっぽ組」

③事務局：教育委員会内

④事業：①研修活動 ②レクリエーション活動 ③各種団体との連絡交流 など

⑤会員数：24名（高校生12名、中学生12名）

⑥会議：総会3月、定例会毎月1回程度

2-2-4-2 ジュニア・リーダー研修、交流会

目的：ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身に付けさせ、子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、子ども会活動の支援や地域活動を行う年少リーダー（ジュニア・リーダー）を育成する。

期 日	研修名	場 所	講師・内容等	参加数
6月30日（日） 7月30日（火） ～31日（水）	ジュニア・リーダー初級研修 （子ども会共催）	活性化センター、 南蔵王野営場	理論・実技講習 講師：消防署職員、 子ども会構成員、シ ニア・リーダー	6名
7月6日（土） ～7日（日）	ジュニア・リーダー中級研修 県主催	蔵王自然 の家	理論、実技講習 講習：蔵王自然の家	3名
6月16日（日） 7月21日（日） 10月6日（日）	管内ジュニア・リーダー交流 研修会打ち合わせ会（仙南地 区子ども会）	白石市	研修会の企画	2名
9月22日（日）	管内ジュニア・リーダー交流 研修会「アンジャム」	蔵王自然 の家	レクリエーション実 習、ダンス練習	3名

2-2-4-3 ジュニア・リーダー自主事業

目的：研修で学んだ理論や実技を活かす場として、自分たちで企画から運営まで行う事業を実践し、リーダーシップや協調性を養う。

期 日	事業名	場 所	内容等	参加数
8月20日 （火）	ジュニア・リーダーと遊ぼう 「夏まつり」子ども会共催	活性化セ ンター	縁日風夏まつりの企 画、小学生向けのレク	38名
10月20日 （日）	ふるさと祭り出店	活性化セ ンター	射的や輪投げのゲーム 運営	155名
2月16日 （日）	ジュニア・リーダーと遊ぼう 「冬」子ども会共催	活性化セ ンター	ひなまつり企画、小学 生向けのレク	32名

対応等

親子料理教室は、町内の他のイベントと重なり申込みが少なく、やむなく中止とした。次年度は早めに周知し、参加を呼びかけることとしたい。親子で体験できる講座のニーズが高いことから、引き続き町の資源や魅力に触れる機会として確保していきたい。中学生の参加についての問い合わせもあるため、対象を広げて幅広く受け入れていけるよう工夫したい。

ジュニア・リーダーは、初級研修でまちづくり株式会社の協力をもらいSUP体験等、町の魅力を知りPRできる地域の担い手となるよう研修内容を見直して実施した。大河原管内の交流研修会にも積極的に参加することができていた。今後も技術の継承やレベルアップを図り、事業継続を目指していきたい。



2－3 青年教育事業の推進

2－3－1 令和6年度七ヶ宿町二十歳を祝う会

①目的：二十歳を祝福し、特色ある成人式を創り出すため、10代から30代の青年で実行委員会を組織し、式典の運営、第2部の企画・運営を行う。

また、これをきっかけとして将来のリーダーとなる青年の育成に取り組む。

②運営：成人式実行委員会（実行委員8名 6～8月に計4回開催）

③日時：8月15日（木）

④場所：七ヶ宿町活性化センター

⑤内容：第1部式典、第2部アトラクション

⑥対象：平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの者。5名

⑦参加人数：5名

2－3－2 仙南青年文化祭への参加

2－3－3 シニア・リーダーの育成

①目的：シニア・リーダーの活動を支援することで、地域に貢献したいという自己実現の場・学習機会の提供を行い、地域の担い手としての基礎づくりを推進する。

②対象：ジュニア・リーダーOBを中心とした希望者

③時期：随時

対応等

二十歳を祝う会は、実行委員8名により企画・運営を行った。大学生2名の参加もあり、意見を取り入れながら準備することができた。

仙南青年文化祭は、体験して楽しむことをテーマに2市7町から様々な体験ブースを出店し運営した。当町からは青年が1名参加し、もりのわ工房のミニリース作りと地域おこし協力隊によるフライングディスク体験のブースを出店し町のPRを行った。シニア・リーダーは、ジュニア・リーダーの初級研修や自主事業の際に声をかけて参加を促した。いずれも意欲的なものの、仕事の都合で思うように活動できないことも多い。繋がりが途絶えないよう、引き続き声がけをしていきたい。

2-4 成人教育事業の推進

2-4-1 地区ぐるみ講座

①目的：地区で抱える課題や地域の方々が学びたいテーマについて、地区と教育委員会が協力して講座を企画し、多様な住民の学びや地域課題解決の糸口とする。

②対象：各地区住民

開催期日	事業名	場所	目的・内容	参加数
11月30日 (土)	干蒲地区ぐるみ講座「健康教室」 (地域づくり委員会共催)	干蒲分館	保健師による健康講演、手を動かす釣りゲーム等	15名
12月13日 (金)	滑津地区ぐるみ講座 (老人クラブ共催)	滑津分館	ボッチャの体験、手を動かす釣りゲーム等	11名
2月21日 (金)	湯原地区ぐるみ講座 (社会福祉協議会共催)	湯原分館	防災食づくり、ボッチャの体験	10名



2-4-2 成人講座

①目的：町民の要望に応じた学習講座を開設し、地域に生活する成人のスキルアップや地域活性化、生きがい作りの一助となる講座を開催する。

②対象：主に成人一般（町内に在住、在勤する成人）

開催期日	事業名	場所	目的・内容	参加数
4月24日 (水)・5月8日(水)	レザーの名刺入れづくり	開発センター	実技：革細工体験 講師：個人（町内）	15名
6月7日 (金)	七ヶ宿焼体験講座	無限陶房	実技：陶芸体験 講師：無限陶房（町内）	10名
10月5日 (土)	草木染め体験	高齢者センター	実技：栗のいが染め体験 講師：個人（町外）	11名



2-4-3 女性講座

①目的：女性を対象に豊かな人間性を培うとともに、資質や能力の向上を図る。

②対象：女性（町内に在住、在勤する方）

開催期日	事業名	場所	目的・内容	参加数
5月22日 (水)	自彊術	活性化センター	実技：自彊術体験 講師：個人（町外）	中止
7月19日 (金)	婦人会館一日研修会	仙台市	講話：漢方講座（葛根湯づくり 葛根茶） 講師：ルメードドゥース代表（町外）	21名
12月21日 (土)	お正月飾りづくり	活性化センター	町内の素材でお正月飾りの製作 講師：もりのわ工房（町内）	14名 (大人8名)
2月26日 (水)	自彊術	活性化センター	実技：自彊術体験 講師：個人（町外）	8名
3月14日 (金)	ミモザのブーケづくり	活性化センター	季節の素材で飾り物の製作 講師：もりのわ工房（町内） ※夜間	17名 (大人11名)

対応等

地区ぐるみ講座は、社会福祉協議会や地域づくり委員会と協力して実施することができた。高齢者向けに、各地区でディスコンを普及したい考えがあるため、ルールが類似しているボッチャの体験を取り入れた。冬期間は体育館では寒いため、和室でも体験できるボッチャが好評だった。また、成人講座では地域の人や物に触れ、地域への愛着を深めることを狙いとして、初めて草木染めの講座を実施した。自然豊かな町に住んでいるため、活用にも関心が高いことがわかった。自彊術については、参加者が減少しているため、希望者でのサークル化を提案する等して、講座としてはよりニーズの高いヨガやピラティスに切り替えていきたい。



2-5 高齢者教育事業の推進

2-5-1 豊齢者大学

①目的：高齢者として生きがいを持ち、生活を楽しくするための学習を行うことにより、健康で明るい日常を過ごす知識と技術を習得するとともに、社会の一員であることに自覚を持ち、地域社会参加の推進を図る。

②対象：主に65歳以上の町民で受講登録した方

開催期日	事業名	場所	目的・内容	参加数
6月6日(木)	豊齢者大学 登録者36名	活性化センター	第1回「開講式」「講話」 講師：ひがし薬局(町内)	31名
10月9日(水)		山形県飯豊町、南陽市	第2回「移動研修」	19名
11月13日(水)		活性化センター	第3回(婦人会館出前講座) 講話：「健康になる掃除と片付け」 講師：佐伯真里(町外)	19名
3月21日(金)		活性化センター	第4回「閉講式」 講師：大道芸人(町外)	30名
7月3日(水)	豊齢者大学 クラブ活動	活性化センター	園芸クラブ 登録者10名 講師：グリーンハウスみやま(町外)	8名
10月30日(水)		活性化センター		3名
7月2日(火)		丸森町	1・2・3クラブ(歩く) 登録者19名 講師：個人(町内)	15名
10月25日(金)		福島県伊達市		13名
7月17日(水)		活性化センター	ディスコンクラブ 登録者25名 講師：宮城県ディスコン協会(町外)	20名
10月3日(木)		活性化センター		14名
12月11日(水)		活性化センター		13名
7月16日(火)		活性化センター	ダンスクラブ 登録者8名 講師：個人(町外)	6名
9月24日(火)		活性化センター		7名



2-5-2 NO!ぼっち運動

①目的：高齢者が安心安全に暮らせる地域づくりのため、関係機関が連携し合い横断的な事業を推進することを目的とする。

②対象：高齢者世帯、一人暮らし高齢者

③関係機関

No.	機関名	期待される役割・事業
1	教育委員会	NO!ぼっち運動事務局
2	公民館	豊齢者大学、広報しちかしゆく原稿作成
3	健康福祉課	包括支援、大人の健康づくり事業、シルバー人材センター
4	町民税務課	後期高齢者医療保険、介護保険、町営バス敬老乗車証
5	社会福祉協議会	老人クラブ、敬老の集い、デイサービス、訪問介護、配食サービス、介護予防事業、児童・生徒への返信運動
6	七ヶ宿郵便局	郵便配達を通した安否確認
7	七ヶ宿小学校	NO!ぼっち手紙運動
8	七ヶ宿中学校	NO!ぼっち手紙運動
9	白石高校七ヶ宿校	NO!ぼっち手紙運動
10	西山学院高校	NO!ぼっち手紙運動
11	関保育所	保育参観、運動会、夕涼み会、団子さし等行事への招待
12	まちづくり株式会社 (情報提供)	便利屋商店、移動販売、高齢者の見守り

④内容

(1) NO!ぼっち会議の開催

(2) NO!ぼっち手紙運動（高齢者単身世帯、高齢者世帯への児童生徒からの手紙運動）

65歳以上の高齢者だけで生活している世帯に対し、町内の小中学校、高校の児童生徒が手分けをして、自身の近況や学校での様子などを手紙に書いて郵送する。高齢者と子どもたちとの交流や、子どもたちが手紙の文化を学ぶために実施する。

対象：七ヶ宿小学校、七ヶ宿中学校、白石高校七ヶ宿校、西山学院高校の児童生徒から町内の高齢者世帯に郵送（138世帯）

回数：各校から1～2回郵送

時期：各校の判断

(3) あいさつ＋声かけ運動

(4) その他高齢者支援に関する事業

対応等

豊齢者大学は、コロナ禍を経て参加者が減少しており、楽しみにしている受講生がいる一方で新規の参加者数は伸び悩んでいる。次年度以降は、健康福祉課や社会福祉協議会の高齢者向け事業との調整を図り、登録制ではなく講座ごとに随時参加者を募集していく形に変更したい。NO!ぼっち運動では、児童・生徒による1～2回の手紙運動を行っている。届いた方々から大変喜ばれており、社会福祉協議会の協力もいただきながら児童・生徒にお返事や感謝の言葉が届いている。今後も継続していきたい。

事業の活性化、公民館の課題を帰結するための取組について

課題・・・

→マンパワー不足、物価高騰による事業費の制限、参加へのハードルを下げたい（より多くの方に学習と交流の場を）

R 6 ～

○ファーストブックプレゼント

幼児健診や、子育てサークルの会にお邪魔して絵本の読み聞かせについて声がけ

○保護者交流支援事業

おやこ工作教室（公民館）

おやこ料理教室（健康福祉課）

○管理職＋担当者の全体会を3回、その間に担当者会を複数回実施し、事業の確認や検討を協議

今後も月1ペースで担当者会を実施して情報共有を行う。

主に成人、高齢者向け事業を中心に、健康福祉課、社会福祉協議会、公民館が連携して、お互いの事業を把握し、それぞれの強みを生かして協力していこうと再確認する協議の場とした。

① それぞれの事業を洗い出し、協力する部分、任せる部分など整理

② 「『これはここが頑張っているから大丈夫と』 わかった状態で進められる関係になろう」

健康福祉課

専門的な知識のもと、継続的な運動教室や指導が可能。平日日中の事業が多いため、高齢者の参加が多い。

社会福祉協議会

老人クラブの事務局を務め、各地域の公民館へ出向いての事業実施や、きめ細かい連絡をしている。

公民館

単発でもチャレンジしやすい。単発なので日程や時間も調整しやすい。高齢者向けの事業は、参加者の減少（高齢化）が課題。一部の地域からの参加が極端に少ないので、地区へ出向きたい。

R 7 ～の取組

○公民館の「豊齢者大学クラブ活動」を廃止、健康目的の事業は、健康福祉課の運動教室へ一本化

老人クラブの事業でディスコン等を普及していく。

移動研修会を合同で実施し、バス代等のコストを抑える。

○働く女性応援講座 新設

平日の夜開催 料理の回 3回 ヨガの回 3回